

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570408575
法人名	社会福祉法人 大館圏域ふくし会
事業所名	グループホーム かみやま
所在地	大館市花岡町字前田162番地39
自己評価作成日	平成24年11月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が家庭的な雰囲気の中で、健康で生き生きとした生活が出来るよう一人ひとりの意志を尊重しながら能力に応じた役割分担を見だし、安心できる生活空間の確立と認知症ケアの充実を図る。また、運営推進会議の継続と家庭や地域との関わりを大切に信頼関係を図り、良質なサービスの向上に努める。夜勤体制の充実に向け夜勤体制加算を活用し夜間の人員を2名から3名にすることでより充実したサービスの質の向上に努める。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは閑静な住宅地内にあり、ユニットのフロアは窓も広く、採光も十分に窓外を眺める風景は四季折々の変化に富んでいる。利用者、職員とも明るくリビングで共に寄り添う姿は、家庭的で利用者同士のふれあいの機会を多く持てるよう工夫されている。健康は食が一番重要との考えの基に、利用者の希望を取り入れた献立を作り食事を提供している。特に給食日誌は毎日の食事内容を記録して翌日の反省材料に活用し、利用者の健康管理に心掛けている。地域との交流にも力を入れており、積極的に地域行事に参加したり、災害時における地域の協力体制の構築に取り組んでいる。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田ハッピーライフセンター
所在地	秋田市将軍野桂町5番5号
訪問調査日	平成24年12月14日

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・各委員会活動、ケアプラン作成時など、その都度実践に繋げている。	理念を正面入口、事務室など見えやすい場所に掲示し、職員同士で機会あるごとに確認している。職員は言葉遣いに配慮し、利用者が自由にその人らしく生活する日々のサービス提供に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・消防避難訓練に町内会長他数名の参加協力がある。・散髪、散歩、買い物などに出掛け交流を図っている。・地域の学校、保育園共に年1~2回交流がある。(七夕飾りや鉢花が届く)。	町内会には加入していないが「町内会報」が毎回届けられたり、地域の産業祭やキリタンポ会などに参加している。隣接する保育園児が来所されるときは、ゲームなど一緒にふれあいが持てるようにし、それを楽しみにしている。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	・地域の公民館祭りに利用者の日頃の暮らしぶりを紹介したポスターを掲示したり手作り作品を出品している。・グループホーム新聞(ほほえみ便り)を地域に配布、回覧をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・年6回開催(奇数月)。利用者の生活状況を報告しアドバイスを頂きサービス向上に努めている。	会議は年6回開催して行事運営や利用者状況など報告し、出席者からは環境問題や防災関係などで意見や助言などをいただき、地域との関係強化や協力について、話し合いが持たれている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・運営推進会議を通じて事業所の詳細を理解してもらっている。・グループホーム新聞にも目を通して頂いている。	運営推進会議での情報交換や、特に制度に係る相談などは、直接出向いて理解を得るようにしている。また毎月発行している「グループ新聞」に利用者の健康状態や情報も掲載し、市の担当者に送付している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・神山荘身体拘束廃止ガイドラインや資料を職員が閲覧出来る所に掲示し全職員が身体拘束廃止に取り組んでいる。	日中は玄関に施錠せず、利用者が外出するときは、目配りや声掛けを一緒に付き添っている。足が不自由な高齢者には、ベッドにセンサーを備え付け、トイレ使用の気配などを察知すると、直ちに部屋に駆け付け、安全確認するなど安全対策を講じている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	・マニュアルにもとづき支援方法について日頃から職員に徹底しながら確認し虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・研修により学ぶ機会があり、それを各所に回覧して他職員にも伝達している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・事前に電話連絡し、都合の良い日に面談を行い、不安や疑問に対しては常時対応をしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ご意見ポストをホーム入り口に設置している。また、家族交流会を実施している。	日々の生活の中で、利用者や家族の意見を聞くようにしている。また家族敬老交流会など家族との交流会を開催し、会話の中で要望意見を聞く取り組みをしている。出された要望等は職員間で情報を共有しながら、支援内容や運営に役立っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・職員会議等で直接意見を述べる機会がある。その他、上司に相談する等の機会を設けている。	月1回の職員会議で業務や対応など全職員で話し合いを行い、管理者と職員の意見交換をしている。日常業務の中でも職員が代表者や管理者に意見を述べるなど、信頼関係があり質の向上や改善の実現に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・年1回、各自で評価を行い施設長と評価について面談を行っている。・資格取得や研修に対しては勤務調整を行い参加できるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・年次計画を立てて積極的に参加できるよう勤務調整等を行っている。・法人職員合同研修会に参加し研修を受けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・研修に参加し情報交換をしサービスの質の向上につなげている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・個別レクリエーションをし気軽に話してもらい機会を作り要望や不安など話してもらい検討していく。・入居前の生活歴を把握し本人の希望を尊重する。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・家族の面会時、気軽に話しやすい雰囲気作りに努めている。また利用者様の生活状況を説明し不安解消しながら信頼関係も築いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・日常生活を通じて個々の身体状態に合わせて家事援助、生活支援をに対応している。 ・利用者様と一緒に行動するときは必ず会話をしよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・本人からの要望を聞いて職員同士でも話あうが、家族の意向も聞いて関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・馴染みの人への面会外出をしたり、入居前からの近所の方々の面会を受けたり、馴染みの理容館を継続利用している。	人間関係や馴染みの場所等については、入居の際に把握している。職員が車で以前よく行っていた商店に買物と一緒に出掛けたり、馴染みの友達が訪れたり、馴染みの関係者との継続支援への取り組みをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・誕生会を開催し一人ひとりからお祝いの言葉を色紙に書いてもらう。 ・余暇時間を利用し利用者同士の会話や散歩しながらの交流に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・特養に入所された方には行事等で出かけた時面会をしている。外出先で家族さんと会った時は挨拶をし近況報告を受け情報の提供もしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者茶話会を行い意見の把握に努めている・入居時や日々の生活、ケアプラン作成時などで個々に聞き取りをし意向に添うように支援している。	利用者の生活歴や情報を把握しながら、日々の利用者との会話や動作を観察し支援している。不機嫌な表情などを察すると職員は居室でゆっくり思いを聞いている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・初回面接や家族の面会時など本人を交え会話の中から引き出している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・毎日の申し送りや報告、話し合い、記録し対応している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ケアプラン作成時、本人や家族からの意向を確認している。それを元に複数のスタッフが検討し立案している。	本人、家族の要望を聞き、サービス担当者会議で利用者の生活のメリハリやリズムなどを確認して計画の見直しをし、利用者の思いや意向を反映させるための柔軟な取り組みをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・ケアプランに添ったまとめを毎月行い実践状況を確認している。改善すべき点はノートに記入し伝達している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・ボランティア受け入れや地域協力隊の協力がある。		
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・受診時、本人や家族よりその都度意向を確認しながら行っている。	近くの内科の開業医から月に1回利用者全員の健康診断を受け、異常が見つければ利用者の希望するかかりつけ医に照会する等の対応をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・バックアップ施設の看護職員と協力体制を作っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・定期的に状況伺いをし病院関係者と連携を密にしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・主治医、家族、スタッフとの話し合いの機会を作り方針について話合っている・入居時利用契約の中で書面により説明し本人、家族の意向を確認している。	入居の際、ホームの対応し得る支援内容を説明している。ターミナルケアはしていないがそこに至るまでは本人・家族や医療機関と相談し対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・施設内学習会への参加。・介護看護マニュアルの熟読や感染症発生時の想定訓練の実施。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・地域協力隊の協力を得ながら定期的に避難訓練を行い災害時の動きを身につけている。	消防署の指導の下、年2回地域住民が加わり避難訓練を行うとともに非常時における職員の駆け付け訓練を実施している。夜勤3人を常駐させスプリンクラーの整備やバックアップ施設と連携しながら非常食の確保対策も講じている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・コミュニケーションを図りながら受容、傾聴をし、本人の意志を尊重し対応している。	職員は利用者の尊厳を大切に会話は親しく分かりやすく状況に応じた言葉掛けがされ、ホーム内は明るく活気に富んでいる。ホームの広報に掲載される顔写真については、事前に家族の承諾を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・ゆっくりとした雰囲気作りをし個別に寄り添い会話し、本人の思いを引き出している。。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・話を聞き出来る限り希望に添った生活が送れるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	・外出時には本人の希望を取り入れ、身だしなみやおしゃれに気遣っている。・パーマをかけたい方は家族と一緒に掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・献立の中に利用者希望のメニューを取り入れる。・盛りつけや片付けを一緒に行う。	献立は旬の物や利用者の希望を取り入れ家庭的なメニューで職員と会話しながら、和やかに食事され、食事後の後片付けなども積極的に手伝っている。また、給食日誌には、その日の食事の味付け盛り付け量などを記入し、翌日の反省材料としている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・利用者の健康状態、病気、ADLを把握しそれに応じた量、食材、形態を工夫し提供している。・食事摂取量、水分摂取量の記録の実施。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・見守りを行いながら清潔保持に努めている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・一人ひとり排泄表をつけその方のパターンを把握し、出来る場所は見守りの中で行ってもらい、必要時は一緒に行う。	トイレの排泄を基本とし、利用者個別の排便確認表により、さり気ない声掛けで誘導し対応している。利用者から要望があれば、ポータブルトイレを準備するなど排泄の自立支援も行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・毎日散歩と歩行訓練をしてもらう。週1回ミルミル・ヤクルト等を提供。牛乳は毎日提供。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	・ある程度は曜日を決めているが、利用者の身体状況や見届けができるか等で入浴日や時間を決めている。	週3回の入浴を基本に、ゆっくり会話をしたり歌を歌ったりして、入浴を楽しむ時間を支援している。体調不良や気温に変化があっても、職員の見守りや介助で安全で安心な入浴を提供している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・照明や環境整備を整えたり排泄介助をし安眠出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬ファイルで目的、副作用の把握に努め、不明な点は主治医、薬剤師に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・散歩、カラオケ、台所仕事、将棋等、本人の希望に応じ随時提供している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	・本人の希望に応じ買い物や散歩、地域行事に出掛けている。その際不安のないよう付き添い支援している。	日常的な散歩や周辺の草取りの手伝いとともに家族との外出や地域行事に参加したり、利用者の希望により近くのスーパーに買い物に出掛けている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・希望があった時は家人の了解を得て本人の責任のもと所持してもらったり、使ったりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・希望時は手紙を書いて頂き、郵送している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・整理整頓を日常的に行っている。・季節毎に飾り付けを工夫して行い季節を感じて頂けるようにしている。	共用空間は広く日当たりも良く、季節に合った飾りつけや絵画などで心が和む工夫がされている。ユニットのリビングは窓枠も広く、居心地の良い空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	・個人の居室の環境は常に整え、ホールにはソファを置いて、思い思いに過ごして頂けるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・本人や家族と相談しながら、在宅で暮らしていた部屋のような環境を作り、家族の写真や馴染みのものを飾り工夫している。	使い慣れた家具の持ち込みを勧めており、各部屋前には、それぞれの好みの「のれん」が垂れ下がり部屋の中には、自宅から持参した絨緞や箆笥、人形が並べられ心地良い環境となるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・ホーム内はバリアフリーで、トイレ、廊下、浴室には手すりをつけている。浴室は滑り止めマットを敷き入浴用昇降機を設置している。トイレ、浴室には案内板をつけている。		